



# 総合戦略の基本施策等の取組みと 社会情勢等の変化

日 時：令和元年12月23日（月）午後6時30分～  
場 所：小豆島町役場本館3F 大会議室

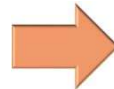
# 総合戦略の基本施策の取組みと社会情勢等の変化【健康づくり】

【平成29年度～現在まで】

現 行

## 健康づくり

- ❖ 小豆島中央病院を核とした地域包括ケアシステムによる地域づくり
- ❖ 特別支援学校、障がい者支援施設の充実など地域の福祉(ぬくもりと希望の島づくり)をつくる
- ❖ オリーブを用いた健康長寿の島づくりなど健康づくりの推進
- ❖ 国民健康保険の広域化により医療基盤を強化する



## この3年間の取組みと社会情勢等の変化

- 小豆島中央病院に地域包括ケア病床を15床(R元.2)+6床(R元.12)導入 P.1
- 小豆島中央病院を核に、関係機関が一緒になった多職種連携の健康づくり、介護予防等を推進する「小豆医療圏地域包括ケア連絡会」を設置し、各種の事業を展開 P.2
- 内海病院跡地を活用し、特別養護老人ホーム、介護老人保健施設の事業開始(H29.6) P.3
- 民間事業者が草壁地区に診療所、安田空条地区に有料老人ホームを整備 P.3
- 高齢者、障がい者の支援強化を目指し、役場西館に福祉避難所を整備 P.3
- 小豆島町障害のある人もない人も共に安心して暮らせるまちづくり条例を制定 P.4
- 香川県が特別支援学校整備事業に着手 P.4
- 重度心身障害者医療費助成の拡充 P.4
- オリーブトップワンプロジェクト第Ⅲ期3カ年戦略の策定と実行 P.15
- 国民健康保険の広域化 etc P.5

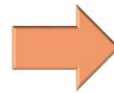
# 総合戦略の基本施策の取組みと社会情勢等の変化【子育て・人づくり】

【平成29年度～現在まで】

現行

## 子育て・人づくり

- ❖すくすく子育て応援アクションプランを実践し、日本一の子育てをめざす
- ❖小豆島でしか出来ない幼・保・小・中・高の一貫教育を実践する
- ❖新しい教育のあり方を小豆島高校跡地を活用して実現する
- ❖アート、演劇、音楽などを通して、こどもたちにコミュニケーション能力を身につけさせる
- ❖男女共同参画社会を実現する



## この3年の取組みと社会情勢等の変化

- 家庭保育サポート事業や奨学金制度の充実など、すくすく子育て応援アクションプランの着実な進展（小豆島中央高校、小豆島中学校の全国駅伝大会出場など若者たちの活躍） P.6・7
- 第2期すくすく子育て応援アクションプランの策定に向けて、見直し作業に着手 P.6・7
- 小豆島中央高校の開校(H29.4) P.8
- 幼・保、小、中、高の一貫教育を目指して「小豆島教育会議」を設置し、事業を展開 P.8
- 特別支援学校の整備場所の決定により、これからの学校のあり方について再検討 P.8
- 平田オリザ氏、わたなべなおこ氏によるコミュニケーション教育の継続実施 P.8
- 文化と教育の先端自治体連合（北海道東川町、富山県南砺市、兵庫県豊岡市、岡山県奈義町、小豆島町）を結成し、演劇やアートを通じたコミュニケーション教育のあり方を検討 P.8
- 男女がお互いに尊重しあい社会で活躍するいきいきプラン「第2次男女共同参画基本計画」の策定 P.9
- 男女共同参画を推進する多様な講演会やセミナーの開催 etc P.9

※P.資料4のページ番号

# 総合戦略の基本施策の取組みと社会情勢等の変化【産業づくり、一次産業の再生と復権】

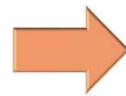
【平成29年度～現在まで】

## 現行 産業づくり

- ❖もう一度、醤油・佃煮・素麺など、小豆島の食の地場産業を活性化する
- ❖小豆島の農やアート、ITなどと連携した新しい産業をつくる
- ❖島の魅力を高め、関係人口(ファン)を増やし、観光産業を活性化する
- ❖商工会の魅力を磨き、商店を守る
- ❖安心して暮らせるまちの福祉産業をつくる

## 1次産業の再生と復権

- ❖オリーブなどの農を、6次産業化にとどまらず、アート、福祉、教育などと連携する
- ❖体験型農業を取り入れるなど、オリーブ公園、ふるさと村の魅力を再生する
- ❖中山の棚田、安田の郷、池田地区などの豊かな農村環境を守り、鳥獣害対策を推進し、移住者など新規就農者を支援する
- ❖瀬戸内海的环境を調査・研究し、漁業の再生に取り組む



## この3年の取組みと 社会情勢等の変化

- 商工業振興計画を策定し、各種の取組みを開始
- 小豆島地場産業担い手育成事業「中川塾」を開講 P.10
  - ・全国最大級の食の見本市「スーパーマーケット・トレードショー」に「小豆島ブース」を開設 P.13
  - ・湖池屋「JAPAN PRIDE POTATO」の販売 P.10
- 小豆島醤油協同組合の強化と「小豆島醤油」のブランド化 P.11
- 「島の光」ブランド普及事業の展開 P.11
- 経営発達支援計画の策定など、商工会の強化と連携 P.12
- 瀬戸内国際芸術祭2019の開催 P.14・21
- せとうち備讃諸島の「石の物語」が日本遺産に認定 P.14・21
- 観光大商談会やクルーズ船の誘致など誘客活動の展開 P.14
- オリーブトッパワンプロジェクト第Ⅲ期3カ年戦略の策定と実行 P.15
  - ・オリーブ植栽110周年記念事業
  - ・全国オリーブサミットin小豆島
- 新規就農者への支援やオリーブの6次産業化に向けた支援 P.16
- 池田地区畑かん改修、農道の整備に着手 P.16
- イノシシなど有害鳥獣対策の強化 P.16
- 漁業振興協議会の設置と事業展開 etc P.17

※P.資料4のページ番号



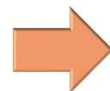
# 総合戦略の基本施策の取組みと社会情勢等の変化【文化・アート総合戦略】

【平成29年度～現在まで】

現 行

## 文化・アート総合戦略

- ❖ 農村歌舞伎、八十八か所霊場など、小豆島の歴史、芸術文化を大切にするとともに、壺井栄・黒島伝治・壺井繁治再発見プロジェクトを進める
- ❖ 瀬戸内国際芸術祭などにより、外の視点で地域の魅力を見直し、磨いて地域の自信や絆を再生する
- ❖ 日本遺産への認定や文化財指定など貴重な文化に光を当て、地域の誇りを取り戻し、次の世代につなげていく
- ❖ 東瀬戸内文化圏の「石の文化」の「世界遺産化」をめざす



## この3年の取組みと 社会情勢等の変化

- 小豆島歴史文化基本構想策定事業の開始 P.18
- 小豆島農村歌舞伎調査事業に着手(国重要無形民俗文化財指定に向けた取組み) P.19
- 壺井栄生誕120周年記念事業の企画展開 P.18
- 映像作品の素晴らしさを発信する記念事業を展開 P.19
- 瀬戸内国際芸術祭2019の開催 P.14・20
- せとうち備讃諸島の「石の物語」が日本遺産に認定 etc P.21

※P.資料4のページ番号

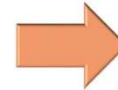
## 総合戦略の基本施策の取組みと社会情勢等の変化【交通の復権】

【平成29年度～現在まで】

現 行

### 交通の復権

- ❖小豆島のバスなどの公共交通の利便性を高めて、まちづくりの好循環をつくる
- ❖フェリーポートなど、航路を守る取組みを続ける
- ❖通学、通院などが安心してできるよう国道などの整備を進める
- ❖交通弱者のための移動手段を確保するほか、環境にやさしいエコカー、自転車などを普及する



### この3年の取組みと 社会情勢等の変化

- 小豆島オーリーブバス等の運賃、路線などの再編により利用者が倍増 P.22
- 小豆島中央高校にバスで通学する生徒の定期券購入に係る助成制度を実施 P.22
- オーリーブバスの利便性を高めるための満足度調査を実施(H30.12) P.22
- 草壁港、坂手港の改良工事を実施
- 民間事業者によるフェリーの新造船建造に向けた計画が進行中
- 香川県のサイクリング誘致促進事業の展開とハローアイランドによるシェアサイクル事業の実施 P.23
- 国道436号線等の改良工事を実施 etc

# 総合戦略の基本施策の取組みと社会情勢等の変化【自然・環境・国際交流・移住者】

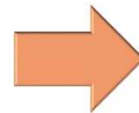
現 行 【平成29年度～現在まで】

## 自然・環境

- ❖ 寒霞渓や皇子神社社叢など小豆島の貴重な自然・環境を守るため、島民学習や保存活動を推進する
- ❖ 産官学民が連携し、瀬戸内海の環境の調査・研究を進める
- ❖ 滞在施設への転用やポケットパークの整備など、空き家・空き地の活用を進め、地域環境を再生する
- ❖ ごみの減量化に取り組み、新しい最終処分場の整備を進める

## 国際交流・移住者

- ❖ 瀬戸内海の島々とのつながりを大切に、瀬戸内海の魅力を日本と世界に発信する
- ❖ 瀬戸内国際芸術祭、そして「福武ハウス」のアジア・アート・プラットフォーム構想を持続して行う
- ❖ 多様な人財や能力を呼び込むため、NPO法人と連携し、移住定住を進める
- ❖ 移住相談窓口の拡充、空き家バンクの充実、体験・交流施設の展開など多様化するニーズに対応する



## この3年間の取組みと社会情勢等の変化

- 香川大学と小豆島町の包括連携協定の締結（讃岐ジオパーク構想の推進：寒霞渓、皇子神社等）
- 空き家等対策計画に基づき老朽危険空き家の除却や改修補助による空き家の活用を推進 P.24
- 堀越地区の漁具倉庫を改修し、地域との協働による集落再生プロジェクトを実施 P.24
- 廃業旅館を活かしたシェアハウスを整備し、移住・雇用対策事業を展開 P.25
- 空き家等を活用した農泊事業の展開
- 新たな一般廃棄物最終処分場の整備事業に着手 P.24
- 瀬戸内国際芸術祭2019の開催 P.14・20
- ギリシャ ミロス島との交流事業を実施
- NPO法人トティエによるきめ細やかな移住定住施策の展開 etc P.25

※P.資料4のページ番号